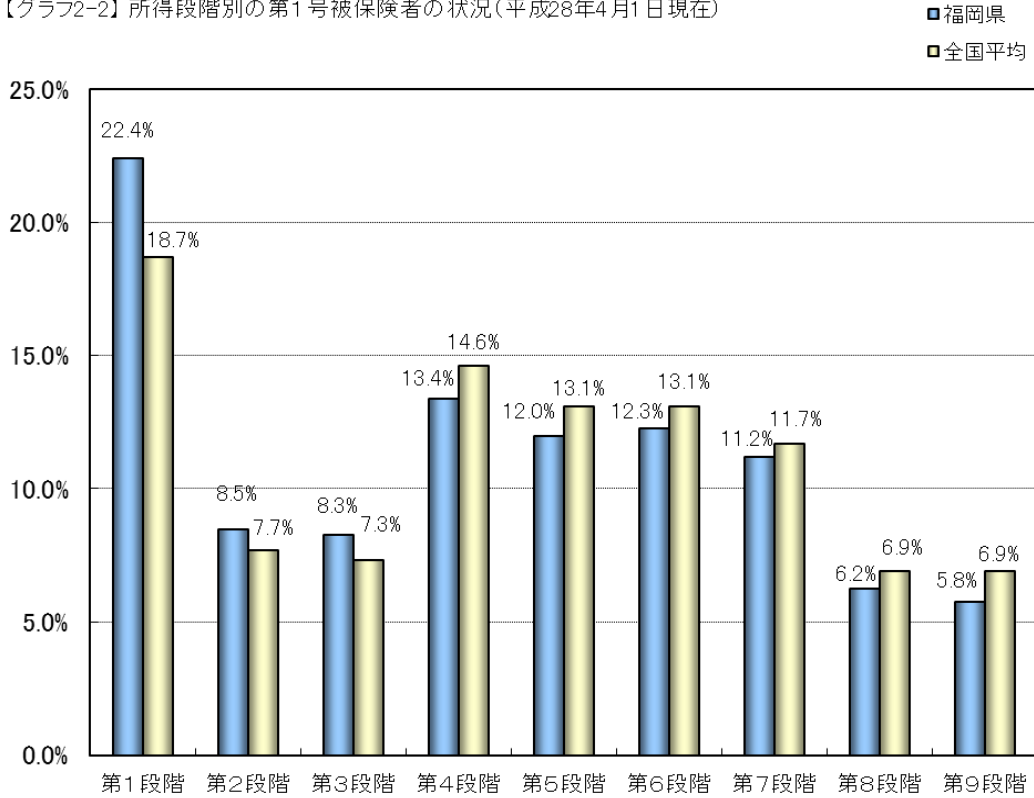


所得段階別の第1号被保険者数

本県の第1号被保険者数の所得段階別構成割合をみると、第1段階(保険料=基準額×0.5)が最も多く、次いで第4段階(基準額×0.9)となっている。

なお、平成15年度から保険料基準の弾力化、平成18年度からは多段階の保険料率の設定が可能となったため、保険者によっては保険料区分を10段階以上に設定している(資料編 3 第1号保険料の設定状況参照)。

【グラフ2-2】 所得段階別の第1号被保険者の状況(平成28年4月1日現在)



(注) 保険料の弾力化を行っている保険者であっても、標準的な基準に従って保険料を設定したものと仮定して算定している。

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階
福岡県	22.4%	8.5%	8.3%	13.4%	12.0%	12.3%	11.2%	6.2%	5.8%
全国平均	18.7%	7.7%	7.3%	14.6%	13.1%	13.1%	11.7%	6.9%	6.9%

(出典: 平成28年度介護給付費財政調整交付金)

所得段階別第1号被保険者数

(単位:人)

区分	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	合計
平成28年4月1日	293,898	111,207	108,432	175,499	157,182	160,765	146,956	81,861	75,535	1,311,335

(出典: 平成28年度介護給付費財政調整交付金)